

近代日本の産業革命期、多数の工場労働者に生じた様々な問題に改善が求められていた。

『職工事情』は農商務省が工場法制定の参考資料とするため、

一九〇二年の調査のもとに刊行された初期労働事情の史料であるが、

工場法公布の翌年に創刊された『安全第一』は、

単に労働災害防止だけにとどまらない幅広い視点から、

社会の安全化を図ろうとした日本で最初の社会安全運動の記録であり、

現在に至る安全・安心社会への取り組みの原点である。

社会政策史、近代史の基礎資料として復刻！

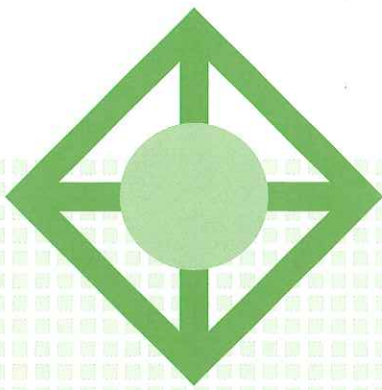
## 日本で最初の社会安全運動の記録

安全第一協会機関誌「復刻版」

# 安全第一

全4巻・別冊1

# Safety First



●解説 堀口良一（近畿大学法学部准教授）

●定価 本体揃価格70,000円＋税



不二出版

『安全第一』は一九一七年四月より一九一九年三月まで毎月刊行（全24号）された安全第一協会の機関誌である。

安全第一協会は日本で最初に設立された安全運動団体であり、現在の労働災害防止を目的とする中央労働災害防止協会の先駆けとなった組織である。

『安全第一』への寄稿者は、会頭・内田嘉吉（通信次官、のち台湾総督）をはじめ、会の実質的指導者であった蒲生俊文、産業政策の責任者であった農商務省商工局長・岡実、足尾鋳業（足尾銅山）所長で古河合名会社理事の小田川全之、実践女学校校長で後に愛国婦人会会長として活躍した下田歌子、麻布学園創立者で貴族院議員の江原素六、労働衛生の先駆者であり農商務省工場監督官であった石原修などがいる。

本資料復刻の意義は、主として、次の三点にある。

第一に、『安全第一』は、交通事故や火災の予防、疾病予防、健康増進、治安などを含んだ広義の安全を対象に、単に労働災害防止だけでなくとどまらない幅広い視点からの社会の安全化を図ろうとする日本で最初の社会安全運動の記録であり、『安全第一』の内容を

## 安全・安心社会への取り組みの原点

復刻版刊行にあたって◎堀口良一

振り返ることによって、現在に至る安全・安心社会への取り組みの原点とその意義を歴史的な観点から再認識させてくれるであろう。

第二は、安全運動は優生運動と密接不可分の関連性を有することから、安全運動への理解によって優生運動についての理解が深まり、ひいては近代に誕生した福祉社会の理念と構造をより十全に把握できる点である。実際、この二つの運動は、ともに大正期に誕生したという同時代性のみならず、両者において、安全第一協会の会頭・内田嘉吉が民族衛生学会設立発起人に名を連ねるといった人脈的関連性や、さらには出生前の「安全」を意図する優生思想（すなわち、障害胎児の出生予防）と出生後の「安全」を図る安全思想（すなわち、被災労働者・障害者の発生予防）という、いわば思想的「二卵性双生児」ともいえるべき思想的関連性を見出すことができる。

第三は、『安全第一』という資料が、国立国会図書館をはじめとして、どの資料館にも所蔵されていないことから、この資料を復刻する価値は、上で述べた「安全」の歴史的再認識および思想的意義に加え、知的財産の保存と後世への継承という点で、極めて高いといえる。

内容見本

# 安全第

# 次目一

安全第一に就て……………内田嘉吉

警察と安全第一……………岡田警視總監談

桑港萬國博覽會に於ける安全第一協會の企て……………竹澤太一氏談

工場と安全第一……………商工局長 岡 實

國民衛生と安全第一……………醫學博士 高 木 兼 寛

郵便貯金と安全第一……………爲替貯金局長 肥 後 八 次

簡易保険と安全第一……………伊 東 信 止 郎

鐵道と安全第一……………伊 東 信 止 郎

米國コンスタントン製鋼會社工場十訓……………法學士 蒲 生 俊 文

工場の一隅より……………法學士 蒲 生 俊 文

パチルス曰く……………保 科 生

火災と安全第一……………緒方消防本部長談

道を歩く時に安全第一……………入學兒童の爲めに安全第一

飛べよ飛行機安全第一を忘るゝな……………倉 見 生

英雄と安全第一……………星 光

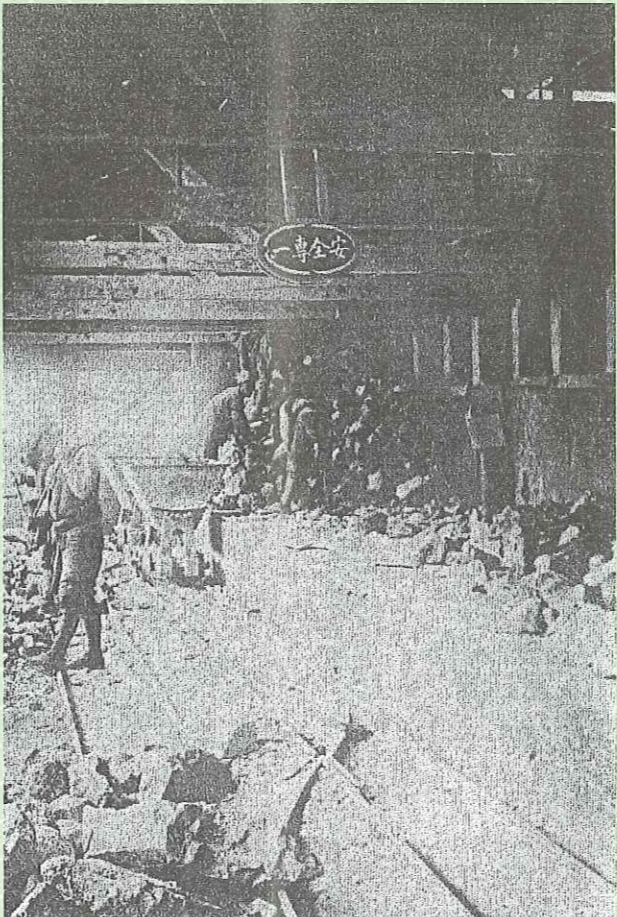
有り勝たぬ不注意から……………柳 春 江

警察部長と安全第一を語る……………記者

實行と効果……………記者

事故案法……………記者

「足尾鎮山坑内安全揭示」（大正二年から實行してゐる）



工場の一隅より

## 工場の一隅より

東京電氣株式會社 庶務課長 法學士 蒲 生 俊 文

(三六)

職工長Aは今朝工場の中に張り出された安全第一講話會の揭示を見乍ら工場を後にして事務室の安全委員B氏の前に立つた、

職「且一寸伺ひ度いのですが

職「何ですか

職「此頃安全第一協會と云ふのが

出来たつて何な事をするんですか

職「あれは、工場の中の危険い

事を除いて、皆が安全に仕事をし

て行かうと云ふのです

職「へえ、どうして除くんです

職「サアそれは色々方法があるだ

が出て居るのだから常に氣を付け

て見て置かないといけない

職「左様ですか、此れから氣を付

けましょう

職「それから工場に投書箱の赤い

のが掛けて有るけれども、あれは

君達が仕事の進り方や其他に危険

があるから是非共斯様様に改良

めに出してあるん

らうがネ、お前は此の工場で此頃

機械に盛に金網を張つたり圍ひを

したりして居るだらう

職「へえ、西山さんや川淵さんが

来て指圖をして取り付けて居ます

職「あれが安全装置と云ふて機械

で怪我をすることを防ぐ仕掛けな

んだ

職「でも、あれは仕事早く出来

ないつてこぼして居ますよ

職「仕事の早さは少し位減つても

怪我が無くなりや仕合せぢやない

か

職「サアそれは色々方法があるだ

有る畫に安全第一と書いて有るの

は一體あれは何ですか

職「あれか、あれは安全を計るこ

とが第一だと云ふ事だ

職「あんまり聞かぬ、日本語です

ネ

職「それは英語でセーフティー、

ファーストと云ふのを日本語に譯

して安全第一と云ふんだネ

職「へえ、あれや舶來ですかネ、

私や西洋物と來ちやツツカリ近寄

職「サアそれは何の事です

職「お前なんか講談でお馴染の塚

帽子をかぶつたり靴を穿いたりす

るぢやないか

職「それは便利だからしますがネ

帽子を冠つたつて靴を穿いたつて

正直日本人でサア

職「そこだよ、安全第一と云

ふと舶來ものだけれども、あれ

や昔から居る日本人が洋服を着た

までの事サ

職「それは何の事です

職「お前なんか講談でお馴染の塚

帽子をかぶつたり靴を穿いたりす

るぢやないか

職「それは便利だからしますがネ

帽子を冠つたつて靴を穿いたつて

正直日本人でサア

職「そこだよ、安全第一と云

ふと舶來ものだけれども、あれ

や昔から居る日本人が洋服を着た

までの事サ

郵便貯金と安全第一…………… 爲替貯金局長 肥後 八次…三八

簡易保険と安全第一…………… 伊東 信止 郎…三〇

鐵道と安全第一…………… 米國ジョンスタウン製鋼會社工場十訓…三四

工場の一隅より…………… 法學士 蒲生 俊文…三六

パチルス曰く…………… 保 科 生…四〇

火災と安全第一…………… 緒方消防本部長談…四一

道を歩く時に安全第一…………… 五二

入學兒童の爲めに安全第一…………… 五三

飛べよ飛行機安全第一を忘るゝな…………… 倉 見 生 五五

英雄と安全第一…………… 足 藤 光 五八

有り勝たぬ不注意から…………… 柳 春 江 六一

警察部長と安全第一を語る…………… 記 者 六三

實行と効果…………… 六四

事故彙法…………… 六六

# 安全第一

内田 嘉吉

## 安全第一の由來

世の中の進歩するにつれ、百般事物の發達することは驚くべきで、隨つて社會各方面の活動は日に激烈となり、之に伴ふ危険は増大せられ、生命財産の安全を圖るも亦六ヶ敷なつて來た。例へば鐵道、工場、鑛山に續發する慘劇、交通頻繁より生ずる危害、家屋激増より來る震災、人口稠密の導く悪疫の如き、敢へれば實に限りの無い事だ、かゝる事實は日々の新聞紙に報道されつゝある通りである。是れ世の文明に伴ふ避けがたい現象ではあらうが、國家の被る損害は甚大なるものである。今にして救済の方法を講ずなければ高潮した世運の進歩は恐るべき結果に陥ると思ふ。吾々は此等の慘害を未發に防止する良法として「安全第一」主義を社會に鼓吹するものである。

安全第一「Safety first」とは今より三四年前北米合衆國西部に於て唱道せられた主義である、此の主義一度産るるや災害日々に減少し、其の効果が又頗る顯著なりし爲め米國の天地は踴躍して之を歡迎し、今や全米を通じ津々浦々に至る迄行き渉り、あらゆる場所に實行されつゝあるのである。

私は先年病氣保養の爲七ヶ月に渉り南北亞米利加を漫遊して昨年初夏歸朝した、這回漫遊中見聞せし事項も少くは無いが、最も深く私の腦裡に留まつたのは此の安全第一主義の普及され實行されて居る事である、世の中の文明に進むに當り當然減少せねばならぬ等の災害は反對に増加されるのである、之れが即ち文明の缺陷とも云ふべきもので、物質的の文明のみ信頼する事の出来ないと云ふ適切な實證である。安全第一とは此の缺陷を補ふべく産れた主義で、教育でも、宗教でも、又道徳でも無い、勿論勸善懲惡のやうなものでも無い、一の獨立した積極主義である。

私は歸朝以來折に獨り機に乗じ之れが鼓吹に努めたのであるが、殆んど一人の反對者と云ふ者も無く、賛成を得たのは、人も亦私と同感であつたのだなと、衷心頗る愉快に感じたのである、中には熱心なる賛成者もあつたので、已に米國に於て、之れが實行を圖るべく安全第一協會なるものが設立され市街交通部、衛生部、災害部、立法部、運輸部と云ふやうに分課され、著々効果を擧げ實行を圖りつゝある例に倣ひ、協會を設立する事に決定し、本年二月十一日紀元節の佳日を下し之れが發會式を擧げて準備に取りかかり、先づ實行の第一歩として本誌の發行を見るに至つたのである。設立總會は四月三日神武天皇祭に開く事に決定したのであるが、此の總會に於て、實行委員として役員の選定を見る次第である、私も微力ながら大に之れが普及に努力する心算なれば同感の諸君は本協會に加盟實行し世の福利を増進せられん事を切望に堪へる。

## 安全第一とは何乎

安全第一

(一)

## 工場の一隅より

東京電氣株式會社 蒲生 俊文  
庶務課長 法學士

工場の一隅より…………… 三六

職工長Aは今朝工場の中に張り出された安全第一講習會の掲示を見乍ら工場を後にして事務室の安全委員B氏の前に立つた、

職「旦那一寸伺ひ度いのですが無何ですか」

職「此頃安全第一協會と云ふのが出来たつて何な事をするんですか」

職「あれは、工場の中の危険な事を除いて、皆が安全に仕事をし行かうと云ふのです」

職「へえ、どうして除くんです」

職「サアそれは色々方法があるのだ

職「出で居るのだから常に氣を付けて見て置かないといけない」

職「左様ですか、此れから氣を付けてみましょう」

職「それから工場に投書箱の赤いのが掛けて有るけれども、あれは君達が仕事の進り方や其他に危険があるから是非共斯様斯様に改良があるときにそれ

職「へえ、あれや船來ですか、私や西洋物と來ちやウツカリ近寄れぬえネ」

職「どうしてだい」

職「此間友達の處でウイスケとかウイスキとか云ふ西洋ものを呑まされてひどい目に遇つたんです、西洋ものにはやこりくしました」

職「さうかい、然かしお前だつて

職「へえ」

職「あのの人の弟子」

職「それは何の事ですか」

職「お前なんか講談でお馴染の塚原卜傳と云ふ劍術の名人が有るだらう」

職「へえ」

職「そこだよ、安全第一と云ふと船來ものだけれども、あれや昔から居る日本人が洋服を着たまでの事サ」

職「それは何の事ですか」

職「お前なんか講談でお馴染の塚原卜傳と云ふ劍術の名人が有るだらう」

職「へえ」

職「あれは安全掲示板と云ふて色々注意書きやら怪我の寫真など

職「へえ……成程……武力板の赤く塗つたのに白「ペンキ」で注意だの危険だのと書いて有るのも矢張り其の譯ですか」

職「さう、あれも注意をしな

職「さうですか」

職「あの工場の入口に赤い線を取つた掲示板があるだらう」

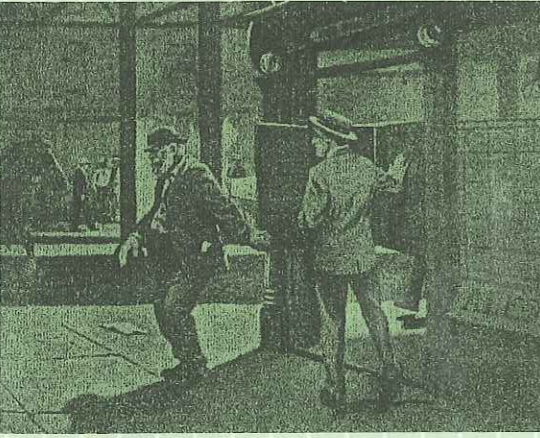
職「へえ」

職「あれは安全掲示板と云ふて色々注意書きやら怪我の寫真など

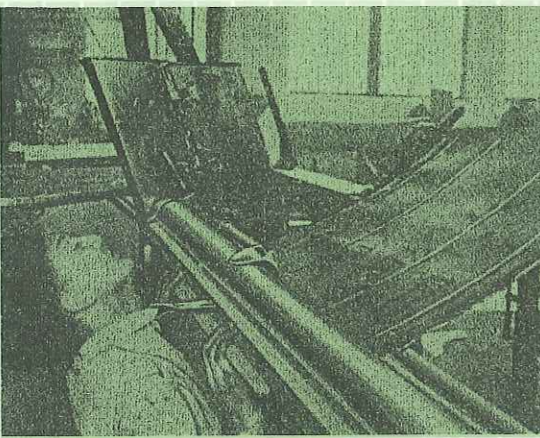
## 斯界の權威

# 安全第一

- 偉大なる希望を有する奮闘家よ！
- 危険なる仕事に従事する人々よ！
- 家族の健康及び向上を願ふ者よ！
- 一國の發展 一家の幸福は安全第一より生る
- 讀め 信ぜよ 實行せよ



「危険信號」酒場より飛び出す労働家。是れこそ危険第一だ



「注意!!!安全第二」汝を飾る美しきネクタイは、アハヤ女の生命を奪はんとす

### 社会政策研究の新鉱脈

玉井金五 (大阪市立大学大学院教授)

日本の社会政策は一世紀以上の歴史と伝統を有しており、それは国際的にみると東洋でも古いケースとなる。たしかに日本の社会政策はドイツをはじめ諸外国から多大な影響を受けてきたが、法律・制度の中身は極めて日本的な工夫の凝らされた内容になっているし、関係する実践的な運動もユニークなものが多々あった。その意味では、後進的とか、非近代的とかいった言い方では到底把握できない要素を十二分に有してきたのである。

そうしたなかで、どちらかというと比較的地味な分野であるが、戦前に安全衛生といった領域において非常に重要な活動が生まれていたこと、そして、それが日本の工業化、産業化に極めて大きな役割を果たしたことは、もつと注目されてよいのではないだろうか。今回刊行される資料は安全衛生の世界を俯瞰するにふさわしいものであり、これによって日本の社会政策がかかわる分野の奥行きと深さといったことを教えられるだろう。

実は、近年中国、韓国をはじめとして社会政策への関心が著しく高まりつつある。つまり、東アジアレベルにおいて社会政策に大きな盛り上がり生じてきている。そして、3カ国の国際比較も急速に進みつつある。こうしたなかで、日本の事例は中心的な比較軸を形成するが、それはさまざまな角度から日本の社会政策史が照射されることを意味する。今回の資料刊行によって、安全衛生の領域がこれまで以上に浮かび上がるのは必至である。

### 世相を映す

村上陽一郎 (国際基督教大学大学院教授)

「安全第一」という言葉は、英語の〈safety first〉の翻訳である。〈safety first〉は、二〇世紀初頭、アメリカの製鉄会社USスチールで、それまで「生産第一・品質第二・安全第三」であった社内のスローガンの、「安全」と「生産」を入れ替え、「安全第一」に変更したことに端を発する。その運動が日本にも波及して二〇年後には、日本で最初の労働災害防止などを眼目とする協会が設立され、機関誌が発行された。設立者総代は、通信官僚(次官)、台湾総督、日本無線社長などを勤めた内田嘉吉である。機関誌の存在は噂にはきいていたが、今回復刻版で現物を手にすることができるのは、まことに喜ばしい。

扱っているテーマは労働災害から、鉄道や足尾銅山の話、保険のようなセーフティ・ネット、そして健康衛生などなど、極めて広範囲であり、第一号には海軍軍医総監を務め、ビタミンの普及に尽くした高木兼寛、第五号には女工と結核の調査で画期的な仕事をした石原修など、医学畑で興味ある執筆者を揃えている。優生思想との結合という時代相も読み取れる。時代と言えば、創刊の翌年から通称「スペイン風邪」が世界的な大流行となったが、しきりに注意を促す記事が見えるのも面白い。

総じて、啓蒙的な内容であるが、現場での災害の当事者の生々しい声なども収録されているようで、安全に関心ある人々だけでなく、大正期の日本の社会相を映す資料としても貴重だと思われる。

## 安全第一 全4巻・別冊1

復刻版概要

- 原誌——安全第一協会発行  
第一巻第一号(1917年4月)〜第二巻第二号(1919年3月) 全24冊
- 体裁——A5判・上製・総約1,800頁 全24冊を4巻に合本
- 別冊——解説・総目次・執筆者索引  
(別冊のみ分売可) 本体1,000円+税 ISBN978-4-8350-5853-5
- 解説——堀口良一(近畿大学法学部准教授)
- 推薦——玉井金五(大阪市立大学大学院教授)・村上陽一郎(国際基督教大学大学院教授)
- 原本提供——蒲生俊敬氏個人蔵書
- 定価——本体価格70,000円+税 ISBN978-4-8350-5848-1
- 刊行——2007年11月



●表示価格はすべて税別。

### 不出版

T1130023  
東京都文京区向丘1-2-12  
電話03-3812-4433  
FAX03-3812-4464  
振替0001160029440844